

## 単元名

## 「塩中タイム(『調査・研究発表会』に向けて)」

- 1 日 時 平成28年10月4日(火) 5時間目
- 2 学年・学級 3年B組(男子17人 女子12人 計29人)
- 3 単元名 塩中タイム(『調査・研究発表会』に向けて)
- 4 本単元を指導するにあたって

3年間を通し、総合的な学習の時間を中心にして、教科等で学んだことを仲間とともに、自分に身に付いた能力、教科で得た知識・技能の活用の仕方、能力の身に付け方などの視点で振り返ることを通し、学習の価値や自己の生き方を実感的にとらえることにより、学習意欲を培うとともに自己の将来設計につながる考え方をはぐくむ内容である。

本学年の生徒は、1学年時より「塩中タイム」を通して自分に身に付いた能力を9能力の視点で振り返り、今後どう生かしていくか、さらにどのような力を付けていきたいかを考えてきた。3学年になり、1学期に「体育祭」について自分自身が身に付けた力を振り返った。1、2学年の時と比較しながら振り返り、個人の成長とともに集団としての成長を感じることができた。今月中旬には、「総合的な学習の時間」の集大成である「調査・研究」の発表会が控えている。これまで身に付けてきた力を総動員して、発表準備を行っているところである。

3学年後期の塩中タイムでは、自分の成長を振り返るとともに、これまで付けてきた力が現在の生活の中で生かしているか、将来にどのように生かしていきたいかを考えさせ、仲間との交流を通して考えを深めさせたい。

- 5 単元の目標

- 総合的な学習の時間や各教科等で学んだことで、自分にはどのような力が身に付いたのか、仲間と共に9能力の視点で振り返ることを通して、学習の有用感を味わったり学ぶことの意味を自覚したりする。
- 取り組んだ学習活動の振り返りを通して、達成感や自信をもち、自分のよさや可能性に気づき、自己の生き方を考える。

- 6 単元の評価規準

- (1) 総合的な学習の時間や各教科等で学んだことを9能力の視点から振り返り、学んだことと自身を結び付けることができる。
- (2) 自分に身に付いた能力とその理由について、仲間に伝えることができる。
- (3) 自分に身に付いた能力とその理由について交流することを通して、自分の考えや意見を再構築していくことができる。
- (4) 身に付けた能力をさらに伸ばすにはどのようにしたらよいのか、考えることができる。
- (5) 互いに意見を出し合い、他者の考えを受け入れながら、他者の良さを発見し、自分の良さを自覚することができる。
- (6) 各教科等で過去に学んだことと現在学んだこととを関連付け、学ぶことの意味や価値について考えることができる。
- (7) 総合的な学習の時間や各教科等で学んだことを、現在及び将来の自分の生活や生き方につなげ

て考えることができる。

## 7 本時の展開

### (1) 本時の目標

これまで身に付けてきた力について確認し、自分自身を振り返るとともに、「調査・研究」や今後の生活にどのように生かしていけば良いか考えを深めることができる。

### (2) 評価規準

- ・これまで身に付けてきた力について9能力をもとに振り返り、友達と交流することを通して、能力を自覚したり共有したりすることができる。
- ・これまで身に付けてきた力をどのように生かしていけば良いか考え、友達と交流することを通して、さらに思考を広げたり深めたりすることができる。

### (3) 準備物

めあてカード、写真、9能力表、「塩中ノート」、「塩中カード」、のり、交流用紙、付箋、「調査・研究」生徒作品例

### (4) 学習の展開

時間	学習活動	主な発問・指示 (○) 予想される生徒の反応 (☆) 指導上の留意点 (●)	評価規準 (評価方法)
導入 5分	○塩中タイムの目的を再確認する。 ○本時のめあてを知る。	●写真を見せて、リトルティーチャーについて思い出させる。  リトルティーチャーで身に付けた力を、「調査・研究」発表会でどのように生かすことができるか考えよう。  ●間近に迫る「調査・研究」発表会を主として、これからの生活について考えることを伝える。	
展開 40分	○自分が貼った能力シートとその理由を発表する。	○リトルティーチャーについて、ネームプレートを黒板の能力のところに貼ろう。 ○どうしてその力が身に付いたと思ったのか理由も発表しよう。 ☆グループのメンバーと協力することができたので、人間関係形成能力が身に付いた。 ☆低学年の児童に分かってもらうにはどうすれば良いかを考えるために、思考力がついた。 ●どんな意見も尊重し、意見をつなげて発表させる。 ○友だちのこんな力が良かったと思うことを紹介しよう。 ☆児童とすぐ仲良くなっていたので、人間関係形成能力があるんだなと思った。 ☆いろんなアイデアを出してくれて助かった。発見	9能力のどれにあてはまるかを、理由を付けて表現している。 (塩中カード、塩中ノート、行動観察、発表)

	<p>○「調査・研究」に、どのように生かしているかを考えて発表する。</p> <p>○『「調査・研究」発表会』では、どのように生かしたいかを考える。</p>	<p>力が高いと思う。</p> <p>●他者からの評価を聞かせ、気付いていない自分の力に気付かせる。</p> <p>○「調査・研究」のこれまでの活動で、その力やその他の力がどのようなことに生かしているか塩中ノートに書き込んでみよう。</p> <p>☆集めた資料の中から、何を使えばいいかを考えるときに、情報活用能力を生かせたと思う。</p> <p>☆表現力を生かして、発表原稿を書いた。今までよりも分かりやすくできていると思う。</p> <p>●机間指導し、難しい生徒には、塩中ノートの他のページを開いて見させるなどして援助する。</p> <p>○ペアで交流しよう。</p> <p>●友だちの意見と自分とを比較させながら聞かせる。</p> <p>○『「調査・研究」発表会』では、リトルティーチャーで身に付けた力を、どのように生かしたいか、付箋に書こう。</p> <p>●生徒の「調査・研究」作品例をいくつか紹介し、イメージを持たせる。</p> <p>●後の交流、掲示のため、書き方の例を板書で示す。</p> <p>☆リトルティーチャーで付けた判断力で、「調査・研究」発表会では、相手が分かってくれているかどうかを見ながら、話すスピードを工夫したい。</p> <p>☆リトルティーチャーで付いた表現力を、「調査・研究」発表会では、表や図を指し示しながら発表することで生かしたい。</p> <p>○班で交流してみよう。各自が付箋を読んで、交流用紙に貼ろう。</p> <p>○交流したことを発表しよう。</p> <p>●友だちの意見を参考にして、より良い発表となるよう意識させる。</p>	<p>これまで身に付けた力をどのように生かしていけばよいかを考えている。(付箋、行動観察)</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>○本時を振り返る。</p>	<p>○自分が身に付けてきた能力を今後どのように生かしていけば良いかについて考えることができただろうか。</p> <p>☆リトルティーチャーの時を思い出して、「調査・研究」発表会では、あの時よりももっとしっかりやろうという気持ちになった。</p>	

		<p>○これまで教科や行事，総合的な学習の時間を通して身に付けてきた9能力を，他の教科や自分の生活・行動に結びつけて考え，将来の自分に生かしていこう。</p> <p>☆9能力は，社会に出ても大切だと思うので，身に付いた力はさらに伸ばして，足りない所は身に付けられるように意識して生活したい。</p>	
--	--	---	--